

議会だより

2018 春 No.85

発行：初山別村議会

編集：議会報発行特別委員会

平成30年5月発行

提出議案と審議結果

議案番号	案 件 名	結果
議案第2号	初山別村表彰条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	初山別村税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	初山別村国民健康保険特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	初山別村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	初山別村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	初山別村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決
議案第8号	初山別村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号	初山別村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第10号	初山別村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号	初山別村土地改良事業及び賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号	村道路線の認定について	可決
議案第13号	有明特別母と子の家の指定管理者の指定について	可決
議案第14号	ふれあいの里豊岬館の指定管理者の指定について	可決
議案第15号	福祉の家共成館の指定管理者の指定について	可決
議案第16号	初山別村高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議案第17号	初山別村高齢者グループホームの指定管理者の指定について	可決
議案第18号	初山別村コミュニティセンター・初山別村Cosmic-Innの指定管理者の指定について	可決
議案第19号	初山別村観光物産館の指定管理者の指定について	可決
議案第20号	初山別村農林水産物直売所の指定管理者の指定について	可決
議案第21号	平成29年度一般会計補正予算（第9号）	可決
議案第22号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第23号	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第24号	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第25号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第26号	平成30年度一般会計予算	可決
議案第27号	平成30年度国民健康保険特別会計予算	可決
議案第28号	平成30年度介護保険特別会計予算	可決
議案第29号	平成30年度後期高齢者医療保険特別会計予算	可決
議案第30号	平成30年度簡易水道事業特別会計予算	可決
議案第31号	平成30年度農業集落排水事業特別会計予算	可決

3月 定例会

3月定例会は、3月6日・7日の2日間にわたり開かれ、冒頭、村長及び教育長が平成30年度執行方針を述べました。

村長提出の議案は、平成30年度一般会計及び各特別会計予算をはじめ、平成29年度各会計補正予算、条例の制定・改正等の30件で、いずれも審議の結果、原案どおり可決しました。

また、一般質問では、2名の議員が村政の執行について村長の考えをただしたほか、議員提出の意見書案1件を可決し閉会しました。



高場 志津子 議員

Q 子育て支援プロジェクトの新たな予算は

A 継続事業の中で進めたい

平成30年度予算の編成について

議員 過去10ヶ年で最大規模の予算とはいえ消防庁舎建替の5億円を除くと前年並みの予算規模だが、予算編成について伺う。

①「スクラップ&ビルド」の考えが反映されている施策と予算は。

② 地方創生総合戦略における人口減少対策の予算は。

③ 村おこしの起爆剤となる予算は。

村長

① 現在行っている事務事業を精査し、使命を終えた事業や費用対効果の低い事業を廃止し効果の高い事業を新たに実施する行政改革の一つの考え。事業の優先度、財源の確保等色々な観点から検討し、村総合振興計画や地方創生総合戦略を柱に様々な施策を推進するための予算を盛り込んだ。

② 新規就農支援事業、持続的漁業経営支援事業、若年者雇用促進助成制度、子育て支援策や生活環境改善策等様々な分野の施策の連動により人口減少

に歯止めをかけることができると考える。

③ 高齢化が進む中、健康で安心して暮らせる地域社会の構築が必要であり、地域で支え合うための「ささえ愛ネットワーク構築事業」、地域おこし協力隊による地域に根ざした活動による地域力の強化を目指す。加えて村内産業の労働力を融通しあう労働力調整協議会など地域活力の醸成に繋がると考える。

一問一答

議員 消防庁舎建替事業以外に目玉になる事業は。

村長 基幹産業の農業の担い手対策をはじめ漁業者への持続的漁業経営支援事業制度を確立。進めている「ささえ愛ネットワーク事業」や住環境整備支援事業、新しい防災マップ作成等。

議員 津波が来たときには新しい消防庁舎だけでは対応できない。海側に避難場所や山に簡易な手すりを作るなど安心安全を図ることが必要では。

村長 いかにかに効率的に避難できるのか、そのための施設整備、ソフト対策をどうするのか。どんなことがあっても対応できるような複層的な対応で安心安全が少しでも強化される。

の施設整備、ソフト対策をどうするのか。どんなことがあっても対応できるような複層的な対応で安心安全が少しでも強化される。

議員 新年度、各町内会・自治会に対し自主防災組織支援交付金要綱により推奨していくようであるが、自主防災組織をどう考えるか。

村長 行政が全て対応することは不可能であり、自分の命は自分で守るための活動が展開されるのは意味深い。その切っ掛けや意識の向上に繋がればと考える。

議員 地方創生総合戦略の「子育て支援プロジェクト」の新たな予算は。

村長 子育て支援は継続事業の中で進める。

議員 村の伸びしろをどう捉えて予算編成したか。

村長 過疎対策、地方創生を進めなければならぬ。人口減少をどう抑えていくか。人口が減少していく中で今まで成り立ってきた地域、暮らしを守っていく視点。

また、元気な高齢者の力を活用できるようなシ

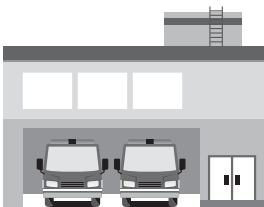
ステムづくりが必要。

議員 高齢者に活躍していただける地域づくり、女性の活躍という部分を総合して、村長が言う全員参加型社会を目指す具体的戦略、働きかけをどう進めるか。

村長 それぞれの世代、年代が自分たちの暮らしの中で力を発揮できることが必要。様々な時代の人たちが助け合い、協力しあえる形ができたと思う。求められることは色々あるが、財政の健全性をしつかり考えながら地に足の付いた施策を固めながら進めていきたい。



宮本 村長



一般質問



新田 武夫 議員

Q 新規就農者の 住環境整備が必要では

A 住環境の充実・就農支援を
さらに強化したい

新規就農者の支援対策について

議員 村の基幹産業である農業の新規就農者を迎えるに当たり住環境等の条件整備が必要と思われるが。

村長 新規就農者支援事業の内容を充実させ、管内でも先進的な取組として一定の評価をいただいている。

ソフト面では早期の経営安定化を図るため農協等関係者によるサポートチームによる検討を行い、資金面・技術面で安心してもらえる支援策を講じてきた。

新規就農者のライフスタイルも近代化にあり、住環境の充実に向けた取組も推進しなければと認識している。村の新規就農者支援事業を軸に支援策をさらに強化したい。

議員 もう少しインパクトある準備が必要である。道北にある若者と高齢者の共同住宅のようなものを検討できないか。

村長 そのような考え方も有効な手段と考える。具体的によどのような手立があるのか検討したい。

指定管理者の指定

■高齢者グループホーム
施設が孤立しないよう、認知症が進まないよう助言願う。

A 指摘のとおり助言していく。

■農林水産物直売所

Q カシオペアの加工施設を利用したい時はどうなるのか。

A 現在は観光案内所を兼ねて活用している。希望があった場合は委託先や観光協会に確認し判断したい。

補正予算

■一般会計

◇1528万3千円を減額し、22億5529万8千円に。

■質疑

○道路照明補修工事請負費 384万4千円の減額

■減額の理由は。

A 豊岬地区で6基補修。現地確認後の施工方法の変更によるもの。

○村道等道路除排雪業務委託料 1589万6千円の増

Q 大変な大雪で、3月に入り農業もいろんな物を運ぶため、経営に支障がないか心配であるが。

A 1月の臨時会で除雪費の増額補正を行い、この度の定例会でも補正させていただいた。住民が安全で安心できる態勢を考えているが、2月末現在で予定した金額よりかなりの除雪費を支出している状況であり、今後、農道等の除排雪等に向けて更なる追加補正が必要な事態が生じる可能性がある。なのでご理解願いたい。

■国民健康保険特別会計
◇6024万4千円を減額し、3億1429万7千円に。

■介護保険特別会計
◇1万9千円を追加し、1億7140万9千円に。

■簡易水道事業特別会計
◇266万4千円を減額し、2億2809万4千円に。

■農業集落排水事業特別会計
◇52万円を減額し、1億

769万1千円に。

意見書案

■地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の見遇改善と雇用安定に関する意見書

提出者 高場志津子 議員
賛成者 水門 博雄 議員
賛成者 斉藤 勝三 議員

会議録の
閲覧ができます

議会だよりは、議会の議決の状況や審議の概要についてお知らせしておりますが、詳しい内容については、会議録の閲覧ができますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会を
傍聴しましょう

どなたでも議会を傍聴することができます。

次の定例会は
6月です

住民の安心・安全のために 消防庁舎改築関連予算 5億8百万円を計上

予算 審査

特別
委員会



土門 洋一 委員長

主な 質疑

一般会計

総務費

○地域おこし協力隊
Q 地方公務員法改正による協力隊の身分の見直しは。

A 任用関係のない委託契約を考えている。

○村有建物改修工事実施設計委託業務

Q 旧初山別荘在所の改修目的は。

A 村職員住宅に改修。

予算審査特別委員会（土門 洋一 委員長）は、3月6日・7日に開かれ、平成30年度一般会計予算ほか5特別会計予算の審査を行い、いずれも全員賛成により原案どおり可決しました。

Q 建物が古いので建て替えてはどうか。

A 道警から有効活用することで引継いでいるので改修し活用したい。

○村有住宅解体工事

Q どの住宅か。空き家は何軒か。

A 旧有明小学校校長住宅。5軒ほど。

○留萌中北部地域連携モデル事業

Q 事業内容は。

A 移住促進のための希望者を対象にしたセミナーや面談、中北部町村のPR・研修等を行う。

○生活交通路線等維持費補助金

Q 補助金が昨年の5割増しだが。

A 国の補助金の算定方法が変更したため。

○個人番号カード

Q カードが必要な方向にあるが村の対応は。

A 交付に対する積極的な支援は、現在考えていない。

労働費

○労働力調整協議会運営費補助金

Q 事業内容は。

A 村内農漁業等の不足する労働力の派遣調整を行い、賃金の差額を助成。

農林水産業費

○新規就農支援事業費

Q 新規の掘り起こし施策予算は。

A 含まれていない。

○いこいの森管理業務委託料

Q 知らない村民もいるが活用方法は。

A 森林保護を含めて森林教室を開催し子供たちや保護者に森林の大切さを理解いただく取り組みを進めている。

○漁港建設費

Q 漁港の堤防の今後の計画は。

A 道では2つの漁港を維持することで毎年砂の浚渫を行っている。今後1億の水揚げを下回る漁港が出た場合は見直しの協議があるかと思う。

Q 初山別の漁港は砂が溜まる状況を毎年繰り返しているが。

A 砂の問題は厳しい状況だが、生産の基盤である漁港の機能はしっかり守りたい。

消防費

○全国瞬時警報システム（Jアラート）購入費

Q 接続の不具合で鳴らないことがあったが、業者の選定はどうするか。

A 受信機の製造メーカー2社を取り扱っている事業者が対象になる。

Q 接続の問題は、本来ある訳がないと思うが。

A 設置業者、点検業者に点検漏れがあった。業者に指導し注意した。

○自主防災組織支援交付金

Q 自治会に人員、管理能力があるか。

A 実際に災害が起きたときに、どのように動くのかを考えていただくのが趣旨。

Q 資機材を自治会で管理するのは難しいと思うが。

A 状況に応じて活用いただきたい。

Q 自主防災推進員の配置は。

A 自治会の状況において対応願いたい。村が設置する考えは今のところない。

Q 防災グッズの検討は。

A 上限1万3千円の助成は最低限のものを揃えられる金額を積算。

教育費

○中学校費 賃金

Q 中学校の教員体制は地域の人材活用を含めてどのようにするのか。

A 事務職員は村費で配置する。外部の人材活用はコミュニティスクールを導入した中で少しでも地域の協力をいただけるようにしたい。

○コミュニティスクール

Q 報償費の予算は。

A 他の自治体ではボランティアがほとんどであり、状況を見ながら対応したい。

○スクールバス運転業務

委託料

Q 小中学生の他に保育

園児も乗っているが、学校と保育所では担当が違うため通行止め等があったときの対応は。

A 早めにスクールバスの運転手や開発建設部と連携をとり迅速な対応に努めている。

○修学旅行費助成金

Q 個人負担はどのくらいか。

A バス代金に対し助成するもので、1人2万円の自己負担。(1人1万3330円助成)

国民健康保険特別会計

○特定健康診査等事業費

Q 無料受診チケットの種類は。

A 40歳以上の対象者は特定検診は全て受けられる。

介護保険特別会計

①生活支援体制整備事業費

②認知症総合支援事業費

Q 事業内容は。

A ①要支援の方を中心に市町村独自で行う事業

委託料は、ささえ愛活動の生活支援コーディネーター

ターの賃金等経費。
②苦前・羽幌・初山別でかかりつけ医と連携しながら認知症が疑われる方々を発見するためチームを作り初期の段階で支援していく。

★議長所感



木村 健一 議長

予算審査特別委員会では様々な活発な審査が行われ円熟した議会になった。

特に、地域住民の安心安全な暮らし、防災拠点となる消防庁舎の建て替えが予算計上されたことは誠に良かったと考える。

更に消防の大型・中型自動車免許の取得費助成は大変素晴らしい、ハード・ソフト両面においてバランスのとれた予算である。また、高齢化社会が一層進む中、介護保険特別会計が2割アップし

たこと、ささえ愛システムも計上されたことは有意義である。

これから人手不足の時代に、それを担う社会福祉協議会の労働環境改善等や岬センターにおいても村民の憩いの場として人材に投資が必要になってくる。人づくりによって、新たな事業展開が開かれてくるものと思う。より良い村づくりを進めていただきたい。

臨時議会

■第1回臨時議会 (1月26日)

一般会計補正予算

◇2318万3千円を追加し、22億7058万1千円に。

↓道路除雪費

1737万9千円追加



議会のうごき

2 月		3 月	
15	例月出納検査 (監査委員)	6.7	第1回定例会 (議長外議員全員)
26	議会運営委員会 (議長外委員全員) 議会全員協議会 (議長外議員多数)		予算審査特別委員会 (委員長外委員全員)
27	管内町村議会議長会臨時総会 (議長・羽幌町)	15	例月出納検査 (監査委員)
28		4 月	
	北留萌消防組合議会定例会 (土門議員・羽幌町)	2	事務局辞令交付式・訓示 (議長)
	羽幌町外2町村衛生施設組合議会定例会 (三谷議員・羽幌町)	12	例月出納検査 (監査委員)
		18	議会報発行特別委員会 (委員長外委員全員)
		5 月	
		10	管内町村議会議長会定期総会 (議長・苦前町)

■議会だよりは村ホームページからでもご覧いただけます。